

昨年、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とする原油価格等の高騰や急激な円安の進行による物価高騰等の影響を受け、コロナ禍からの回復が未だ途上にあつた暮らしと経済は、引き続き予断を許さない状況となっております。

コロナ禍から社会経済活動の回復を目指している最中、物価が大幅に上昇する状況は、町民生活や町の経済に影響を及ぼすものであります。そのため、国や宮城県の支援施策の動向を注視し、物価高騰等の影響に直面している町民の暮らしや町内事業者の支援に引き続き取り組むなど、切れ目のない対策を迅速に行つてまいります。

一方、昨年、本町におきましては、松島海岸駅の新駅舎の落成式が3月に行われ、松島観光の玄関口としてふさわしい駅へとリニューアルいたしました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がまだ残る中、3年ぶりとなる行動制限のない夏に「松島流灯会海の盆」をはじめ、様々なイベントが開催することができました。

また、昨年は行政区役員等懇談会を各行政区において開催することができました。令和5年度におきましても、感染症拡大に注意を払いつつ、本町に関わる多くの方々と直接語り合つ場として、本町の施策や地域の課題をテーマにタウンミーティングを開催し、コロナウイルスに奪われた町民との対話

の時間を取り戻し、まちづくりを進めてまいります。

さて、昨年も全国各地で自然災害が多発した年でありました。7月15日から16日にかけての大雨においては、本町では初めてとなる「記録的短時間大雨情報」が発表されました。16日午前0時には最大1時間降水量が100mm相当となったことを受け、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令しました。この記録的な大雨により、甚大な被害が発生しました。最近では「50年に一度の大雨」といった報道も珍しくなくなり、「命を守る行動を」というような新たな防災情報の発信がなされるなど、改めて地球規模での異常気象に対し、今後も防災・減災対策は我々行政としての最重要の使命として取り組んでまいります。

町の長期総合計画における重点戦略のひとつに位置づけております「子育て」につきましても、新しい子育ての場として令和2年度より整備してまいりました「認定こども園松島めぐきの森」が、本年2月に園舎が完成し、4月より開園する運びとなりました。新しい園舎に加え、里山に囲まれた自然豊かな環境を生かし、体で感じる体験を中心に様々なカリキュラムを導入するなど、本町における幼児教育の質の向上が図られるとともに、保育の受け皿の拡大と、教育・保育を一体的に提供できる場となるよう官民連携で取り組んでまいります。

このような状況の下、令和5年度予算案における一般会計の予算規模は、前年度と比較して、5.6%の増で編成しております。なお、特別会計予算につきましては、下水道事業特別会計が令和5年度から公営企業会計へ移行しますことから、前年度と比較して、1.2%の減となり、公営企業会計予算につきましては、120.4%の増で編成しております。

令和5年度も「コロナ禍や世界情勢により先行きが不透明な状況にはありますが、感染症への対応に全力を挙げ取り組むとともに、少子高齢化と人口減少の進展に伴う将来の課題に対応し、町民の皆様が生き生きと活動する活力あるまち、持続可能なまち、選ばれるまちを目指し、長期総合計画に定めた重点施策等を着実に実施してまいります。

松島町長

櫻井 公一

昨年11月、初原地区におきまして、工業系の土地利用を目的とした事業区域として、市街化調整区域から市街化区域へ編入されたところでありました。このことにより町内における企業誘致の場が飛躍的に広がることに、立地する新たな企業のもと、働く世代の雇用の場が創出されることで、町の長期総合計画における重点戦略のひとつに位置づけております「定住」に寄与する非常に有効な施策になるものと捉えております。今後は、本格化する新たな産業拠点の形成と併せ、雇用の受け皿となる企業の誘致につきましても積極的に取り組んでまいります。

本町の人口は本年1月1日現在で1万3,321人であり、昨年同日の1万3,502人と比べ181人減少しています。一昨年から昨年の176人の減少と比べ若干減少幅が増え、この減少速度をできるだけ緩やかにしていくことが急務であります。そのためには、若い世代に住み続けてもらえる環境を整え、I・J・Uターン者等の移住者を呼び込むことが必要となっております。

本町における令和3年度の人口増減をみますと、自然増減では自然増が50人、自然減が230人でありました。一方、社会増減では、社会増として町に移住してこられた方が384人、町から転出された方が353人となっており、年々本町に移住される方が増えっております。

とした住宅取得への支援を継続してまいりますとともに、新たに、若年層への移住・定住を後押しする施策として、出会いの場をサポートする「出会いサポート事業」、さらに、結婚を機に本町に居住する新婚世帯に対し、新生活のスタートに係る引越費用等の一部を助成する「新婚世帯応援事業」の2つの事業に取り組んでまいります。コロナ禍を契機とした地方回帰の動きも捉えながら積極的に情報発信を行い、I・J・Uターン者の増加や若者の定住促進に努めてまいります。

昨年より進めている自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)につきましても、昨年3月、本町のデジタル化に取り組み推進基本方針を策定いたしました。この方針に基づき、今年4月に設置するデジタル推進室を中心に、自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)を更に推進してまいります。

デジタル社会の早期実現に向け、国でも様々な法律・計画等が策定されており、令和7年度末までに重点的に取り組むこととされておりますことから、時代の潮流を踏まえ対応していく必要があります。

テレビから町の情報を即時発信

テレビ回覧板

テレビのデータ放送機能を使い、誰でも簡単に無料で町から発信した情報を得ることができます。

長期的に安心して利用できる施設

保健福祉センター大規模改修

保健福祉センターを長期的に安心して利用できる施設とするために、令和7年度までの3年間で大規模改修工事を行います。

販路拡大を目指す事業者の支援

販路拡大支援事業

利府松島商工会が実施する販路拡大を目指す事業者向けセミナー(SNS活用等)に要する経費について補助金を交付します。

新生活のスタートを支援

新婚世帯応援事業

新婚世帯を対象とした移住に係る引越越し費用等の一部を支援します。

災害時の避難行動の迅速化

ハザードマップ・津波避難計画見直し

宮城県が公表した津波浸水想定等を踏まえ、ハザードマップ及び津波避難計画の見直しを行います。

利用者の利便性をより高めま

観瀾亭・松島博物館 公衆トイレ建設

利用者の利便性をより高め、さらに魅力ある施設とするために、公衆トイレの建設工事を行います。

令和5年度に実施予定の主な事業をご紹介します

出会いの場を支援

出会いサポート事業

町内の独身男女を対象とした結婚相談センターへの入会費用等を支援します。

交通渋滞対策に向けて

松島町交通社会実験

令和5年度も国道45号松島海岸エリアの交通渋滞対策に向けて実施される社会実験に参画します。

施政方針の全文については下記をご覧ください。

町ホームページ URL:https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/index.cfm/7,37114,18,466.html

